



## 羅針盤—みんなの道を示すものに…

進路指導部通信進学編。今年も発行していきます。この通信の名前は、世の中という大きな海原で、一人ひとりの将来を照らす「羅針盤」になりたいという思いで名付けられたものだそうです。そういう思いを受け継いでいいものを出していきたいと思えます。

進学中心であるがゆえに、自分の希望とは違うから読まなくていいや、と思う人もいるかもしれません。現実的な情報としては確かに必要でないかもしれませんが。しかし、今、同級生や先輩・後輩がどのような状況に置かれているのかを知ってもらい、さらにはこの紙面に書かれた情報から、今の自分を見つめ直し、これから生きていくためのヒントとなるものを手に入れてくれるといいなと思っています。

時には厳しい情報が掲載されるかもしれません。みんなを落ち込ませることがあるかもしれませんが、自分の信念を確立し、将来を見据えた行動ができるようになるために、一役買いたいと思っています。

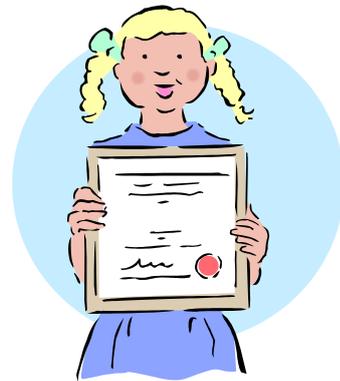


## 新学年のスタートは!?

新学期、誰もが気持ちを新たに、「頑張るぞ!」という思いを胸に始まったこの1ヶ月だと思えますが、そのスタートはどんな状況だったでしょうか。

3年生はいよいよ最終学年として、卒業後の進路に向けてしっかりとした目標を定めて実際に行動していく学年です。担任、家族とじっくりとした話し合いをした三者面談はどうだったでしょうか。いろいろな可能性が君達の前にはあります。そして、実際に君の選ぶ進路は君自身が歩く道にほかなりません。何度も「これでいいのか?」という問いを自分にぶつけ、納得して進路を選んでほしいと思えます。そして、学習面においても生活面においても、社会に出ていくという自覚を持って行動していきましょう。

2年生はいよいよ中堅学年という自覚を持って行動して欲しいと考えています。あと1ヶ月くらいで生徒会のメンバーも部活動の部員も君達を中心になります。「種子高を背負っているのは自分だ。」という気概の下、校内校外を問わず様々な活動において、「種子高の顔」という自覚を持って取り組みましょう。たまに校外の方や、本校で教鞭を取られた先生方と話をする機会があります。「新聞で見ましたよ。」とか、「ブログ見えますよ。」などの言葉をかけられて嬉しく思うことがあります。その記事の中心になっていくのが君達です。時折、「中だるみの2年」などという残念なレッテルをはられることがある学年ですが、種子高生に限ってそんな言葉は無用だと信じます。



1年生にとってこのひと月はどの様なものだったのでしょうか。高校生という自覚を持って始まりましたか。それとも周りの顔触れが変わらず新鮮味のないままの毎日が続いているのでしょうか。それでも3つの学科に分かれて全て新しい先生方の下、初めて過ごす校舎の中での毎日は緊張の連続だったのではないかと想像します。

「種子高」での毎日に一日でも早く慣れ、自分のペースをつかんで学習面・生活面を充実させてほしいと思えます。高校入試で思うような点数が取れなかった人もいるかもしれません。過去の自分を変えられませんが未来の自分を変えられます。高校入学を機に「学習」にもしっかりと自分のペースを作してほしいです。「知らない、解らない」は恥ずかしいことではないと思っています。ただ、「知ろうとしない、解ろうとしない」ことが恥ずべきことだと思っています。学習面にとどまらず様々なことに挑戦し、自分を成長させるべく充実した種子高生活を歩んでくれることを望みます。

## 昨年度の進学結果から

進学先 (延べ数)	合格者 数	進学者 数	受験者 数
国公立大学	11	11	22
私立大学	16	6	25
国公立短大	2	2	3
私立短大	5	5	5
医療系専門学校	9	9	10
その他専門学校	23	23	23
公共職業能力開発施設	0	0	0

※(詳細は、家庭訪問資料をご覧ください)

- 昨年度の国公立大学の入試では、推薦入試で3名の生徒が合格し、幸先の良いスタートを切ってくれました。しかし、センター有りの推薦はうまくいかず、国公立大学の壁の高さを再確認しました。

センター試験は生徒数減少のなか、文理コースとして臨む2回目のもとなりました。普通科の人数は昨年度より7名、文理コースの人数は5名減少しており、センター試験受験者数は4名減の15名とかなりさびしい状況になっています。

今年のセンター試験は新課程最初の試験ということで、特に数学で本校生は苦勞したようです。それはしかし全国的な状況でもあり、しっかりとした力をつけてきた生徒はそれなりの結果を出してきました。その中で「何としても国公立大学」という強い意志を持った生徒達が果敢に挑戦し、国公立大合格者11名の実績を上げてくれたことはうれしい限りです。結局は本人の思いとそれに伴う地道な努力が最後に結果として実を結んだと考えます。

問題の難易にかかわらずしっかりとした基礎力が最後の結果を招くとあらためて感じます。特に1,2年生には、早い段階からの受験生としての意識を期待します。

- 医療系専門学校は学科や学校の人気によって合否が変わってきます。本校生は国立の看護系の学校になかなか一般入試での合格者が出ていない状況です。志望校と難易をしっかりと見極め、チャレンジ精神を持って挑戦して欲しいですが、先輩方の実績

も踏まえて、しっかりと担任の先生と相談して受験先を決めていきましょう。

人間の生命を左右する医療現場の厳しさをわきまえ、しっかりとした基礎学力を養成する必要があります。

## 資料室を活用しよう!

進路指導部には、毎年膨大な資料が送られてきます。各教室に配布してなるべく多くの皆さんの目に触れてもらい、気軽に大学や短大、専門学校の内容を調べてもらいたいと思いま

す。また、将来の職業や学問につなげるきっかけをつかむためのものとして利用してもらいたいと考えています。

しかし、教室に置ける資料には限りがあり、また全クラスに配布するには数が足りないものもあります。

そこで進学就職を問わず、個々の学校、会社などの資料は管理棟2階の進路資料室に保管されています。進学用の過去の問題集や、就職のための問題集や過去の求人票など、ぜひ活用してもらいたいものが置かれています。

またパソコンも、昨年度の卒業生(7期生)の卒業記念品を含めて5台設置してあり、インターネット検索ができる環境もあります。先輩の思いにこたえるためにも、大いに活用して下さい。



### 当面の進路行事

- 5月 9日(土) 土曜講座, 就職公務員模試
- 5月20日(水) ~ 22日(金) 中間考査
- 5月30日(土) 土曜講座
- 6月3日(水)・4日(木) 実力考査
- 6月6日(土)・7日(日) 進研マーク模試(3年)
- 6月18日(木) 進路セミナー

※ゴールデンウィーク中の課題が各教科から出されています。一覧表が配布されたはずですが。

計画を立てて、真剣に取り組んで実力養成を図りましょう!